

ステージ通信

Q

Vol.2 2003 秋

北九州芸術劇場プロデュース公演

「大砲の家」

◇Pre-Stage Voice

今、花開く才能が語る新たな舞台。

◇特集

北九州から発信する、
演劇文化の新世界

◇Resonance in HIBIKI HALL

インタビュー

ヴァイオリニスト 戸田弥生

◇Relay Essay

劇作家・演出家 平田オリザ

Stage Preview
Calendar of Program



森 光佐 Mori Misa
北九州市在住、18歳。現役の高校生。
主な出演作品は「アターラボ2003」「ロ
ッテ」×「海上交差点」、北九州演劇
祭10周年記念作品公演「IRON」など。

まもなく初演を迎える北九州芸術
劇場プロデュース公演「大砲の家」。
稽古場ではいままさに白熱の稽古
が繰り返られています。幕の向こ
うにみなぎる新しい息吹。ひとと
ーティションで合格した12人の若い
才能。その中の4人が、舞台にかけ
る意気込みを語ってくれました。

いくつもの出会いのなかで、
新しい自分を見つけた。

編集者以下(〇)ます、俳
優を指すことと思っ
たきうかけからお聞かせください

白石 中学時代、文化祭で舞台の
音響を担当したんですが、そのとき
それまでに経験したことのない面白
さを感じて演劇の世界に興味をも
ちはじめたんです。タイミングの良
さを先生がほめてくれてうれしか
ったのが本音かな。

森 私は小学生の頃、母と一緒に
月1回のペースで舞台を観に行ってい
ました。観ているだけで楽しかったの
ですが、6年生の時に観たク・ナウ
カの野外公演がとてもしっかりと
て、自分もステージに立ちたいと思
いました。

酒瀬川 私も舞台を観るといつこ
とは特別なことではなく、高校でも
演劇部に入っていました。女子高で
髪はショート、声もわりと低くから
男役ばかりでした(笑)
寺田 僕は高校3年の子どもの経験

今、花開く才能が 語る新たな舞台。

の本当の深い部分を、僕は結局最後
までわからないかもしれませんが、
僕なりに受けとめて、演じていきたく
いますね。

Q 「大砲プロジェクト」で
行われたドラマリー
ディング公演はどうでしたか？

白石 最初は、なんじゃコリア、とい
う感じでした(笑)。手元には台
本がある。だけど、お客さんがすく
そくて観ている。ただ稽古を観られ
ているような気もするけど、でも台
詞を言うときはやはりお客さんの
存在を意識せずにはいられないです。

舞台の上では、
ウンをつけない。
だからこそ、
本当の自分を楽しみたい。

Q 役を演じるなかで、「楽
しい」と思える瞬間は
どんなときですか？

酒瀬川 何でもそうかもしれませんが
んが、私のなかで「演じる」というこ
とは、「楽しい」という「んが」からじ
ないといけないうものなんです。自分
が楽しめなければいいものはつくれ
ない。観てくださる方にも伝わらな
いと思っ
うんです。ただ頑張るだけじゃな
い。自分の努力や一生懸命さを見
たいなものがあつてしまつて、観る側
も「うん、うん」と思っ

だから、どれだけ楽しんでいるか



寺田 剛史 Terada Tsuyoshi
福岡県鞍手郡出身、27歳。泊篤志
率いる劇団「飛ぶ劇場」所属。主
な出演作品は「生態系カズン」「ミ
モココロモ」など。

が大きなきかけになっているんじや
ないかな、と思っ
弾き語りなんですけど、友だちに勤
められて、ちよつとした街のステー
ジで歌うことになったんです。お客さん
は50人くらいだったかな。中にはお
じいちゃんやおばあちゃんもいて、
当時、僕は人前で何かをするよう
なタイプではなかつたんですが、その
ときのお客さんの反応がうれしくて
漠然と、将来は何か表現すること
で「寺田剛史」というものを人に認め
てもらって、それでお金がもらえたら
なあ、と、そんなふう思うように
なりました。

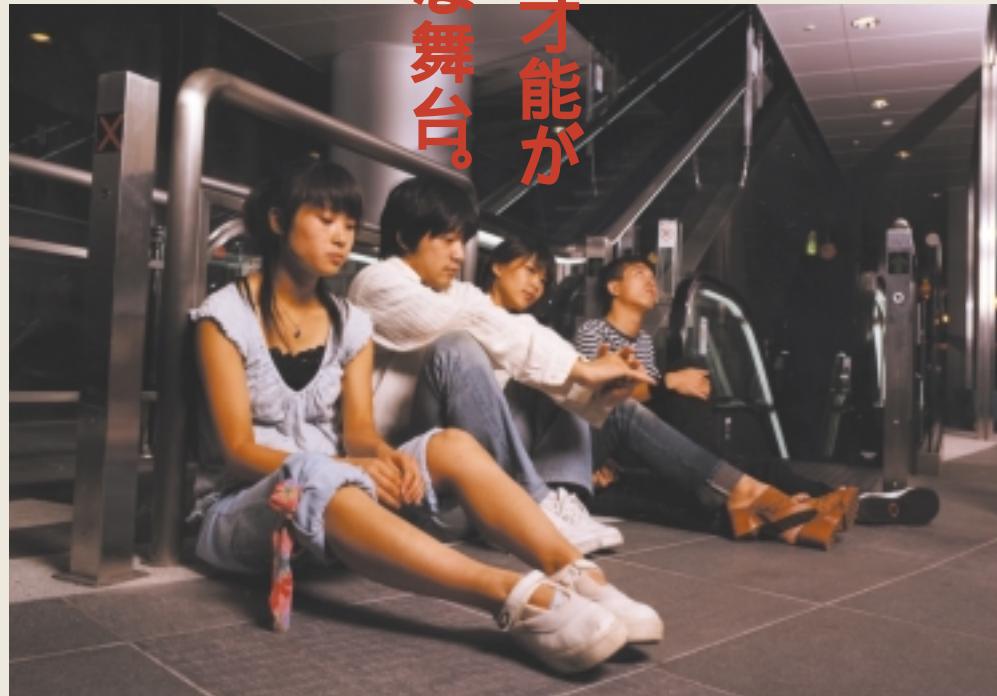
Q 今回、「大砲の家」オー
ディションに応募した
理由は？

酒瀬川 これまで私はオーディシ
ョンというものを度々受けたことが
なかったで、力を試そうと思っ
なかつた。いまの自分にあまり満
足していないか、とも理由のひとつ
ですね。演出家の方や役者さんとか
初めての人たちと出会えは、きうとい
ろんなことが吸収できるとも思っ
たんです。新鮮な気持ちで取り組むた

めに、あえて新しい環境に自分をあ
てみようと思っ
てみよつと思っ
白石 僕は、前にも泊さんの芝居
崎版、「生態系カズン」に出たこと
があるんです。今回は、泊さんが内藤
さんと組むといつこと、また前回と
は違ったことが経験できるのでは、と
思っ
森 私はとにかく経験を積みた
といつ思いが強かつたですね。この環
境は大きく成長できるチャンスって
だつて、役者・森光佐「はまだまたカ
ズンボ。他の劇団の方たちと一緒に舞
台に立つ中で、何でも吸収していきた
い」と思っ

Q 泊篤志さんの作品の
印象は？

寺田 僕は泊さんの舞台にはすつ
と出させてもらつてゐるんですが、僕が知
っている九州の作家のなかでは、やはり
泊さんの作品がいちばん好きかな
た。これは、人の感情には、喜怒哀楽が
あるけど、でもそれだけじゃなく、
言葉にできない微妙な部分があつた
んあります。そのどこにも言葉
にできない部分を、泊さんはみごと
に台詞に反映させていくんです。泊さん



が大切だと思っ
は、自分を隠そうとしても隠せない
すべで見られてしまいます。自分の
体ひとつで、これが私です」と勝負
しなくてはならない。そういう部分
ではキツいこともありますが、だか
ら「本当の自分を楽しみたいです
ね。難しいですけど。

Q キツイと思っながらも
「楽しい」と言えるの
はなぜですか？

酒瀬川 やっぱり、自分に返つてく
るものがあるからでしょうね。お客
さんの反応もそうです。終わつた
あとに自分のなかに残るもの、たと
えば、演じるうえで感じたことや発
見したこと、かいらんなものが私の
なかに反響してくるから、結局、楽
しいといつ言葉にたどり着くのだ
と思っ

Q 「大砲の家」に対する
意気込みをそれぞれ
お聞かせください。

白石 僕はとにかくがんばりたい
だけ。まわりのメンバーたちは、僕が
高校生のころから観客として観てい

白石 健一 Shiraiishi Kenichi
北九州市出身長崎市在住、22歳。劇
団「二番目の庭」所属。劇団公演のほか、
2002年長崎版「生態系カズン」(作
/演出・泊篤志)などにも出演。



Pre-Stage
Voice
開演プザーを待ちながら

大砲の家

北九州芸術劇場
プロデュース公演



酒瀬川 真世 Sakasegawa Mayo
福岡市出身、24歳。個性派女優4
人によるユニット「che carino/che
carina!」に参加。年3-4本の舞台
に出演。



北九州芸術劇場
プロデュース第1弾
大砲の家

10/31(金) ▶ 11/2(日)

作 泊篤志(飛ぶ劇場)
演出 内藤裕敬(南河内万歳一座)

北九州芸術劇場 中劇場

日時 10/31(金)19:00開演
11/1(土)14:00開演
19:00開演

2(日)14:00開演
(開場各30分前)

料金 全席指定 一般 3,500円
学生 2,500円
当日各300円増

発売中

託児あり(有料・要予約)
連絡先 0120-8000-20

伊丹公演 会場:AI・HALL

日時 11/7(金)19:00開演
8(土)14:00、19:00開演
9(日)14:00開演

Next Program

北九州芸術劇場
プロデュース第2弾
「ファウスト」

北九州芸術劇場プロデュース第2弾は、ワルブルギスの音楽劇「ファウスト」。ドイツの文豪・ゲーテ作の壮大な物語をスピーディーでスタイリッシュな音楽劇としてお届けします。

公演の詳細は ▶ P8

「ご存知のとおり、プロデュース公演第1弾となるのは、大砲の家」です。脚本は、新作を発表する度、「今まで一番おもしろい」と評される劇団「飛ぶ劇場」代表の泊篤志。演出は、日本を代表する演劇人のひとりである内藤裕敬。泊氏が生まれ育った海峡の風景と、戦争や宗教といった「人間・社会」にわたる問題を背景に展開される人間ドラマです。それをタイオニックで力強い内藤演出が味付けします。

「彼は根拠からの作家ですね。常にもものごとを客観的に見ていて、それでいてベースには人間臭さをしっかりと持っています。彼にはまだまだたくさん引き出しがあるはず。」とは津村プロデューサーの泊評。大砲プロジェクトのリーディング公演を経て、脚本家・演出家とも作品の練り上げ作業を行っているだけに、本公演への期待が高まります。

劇作家・泊篤志 ×
演出家・内藤裕敬

それではご紹介。
プロデュース第1弾「大砲の家」の
みどころをスラリ!

実力派の東京・関西俳優陣 ×
九州オーディション陣の未知数

劇場スタッフにとって、劇場は「自分の家」。コセットの位置までわか

「隅々まで知り尽くした
自分の家」でつくる

出演は、東京・関西で活躍する経験豊富な俳優陣と九州でも指折りの12名。クールな雰囲気にも男女問わず魅了される陰山泰。様々な役柄をこなし、今回の演技にも期待高まる荒谷清水。優しい印象が一転、舞台では硬派な役柄をこなす木村基秀。キョートな中にハリーあふれる近藤結希花。そして内藤氏が「意外性がある」と面白く思える人を選んだ」といふ九州勢。16名の俳優たちが影響し合って見せてくれる、生きた人間たちの姿もみどころのひとつです。



大砲プロジェクト

2003年2月から続く「大砲の家」創作のクオリティアップをはかるプロセス。そのひとつのリーディング公演は、書き上がったばかりの戯曲を俳優たちが読み、それをモニターとなった観客に見てもらおうというもの。モニターの感想や意見をその後の創作に生かし、作品への構想を練り上げる。「大砲の家」の部屋というスペシャルサイトも目見え。

<http://www2.kitakyushu-performingartscenter.or.jp/taihou/>

「大砲の家」出演者



陰山 泰 (かげやまたい)
兵庫県出身。道・機械 / 全自動のアターを経て、舞台を中心にテレビ・映画などでも活躍中。



荒谷 清水 (あらいにきよみ)
大阪生まれ。1983年「南河内万歳一座」に入団。第2回関西現代演劇俳優賞(男優賞)を受賞。



木村 基秀 (きむらもとひで)
大阪生まれ。1996年「南河内万歳一座」に入団。以降数々の作品に出演。



近藤 結希花 (こんどゆきか)
神奈川県生まれ。新宿象山池の旗揚げ公演から参加。映画「夜を離れて」(全守監督)出演。



寺田 剛史 (てらだ たかし)
(飛ぶ劇場) (劇団 二番目の庭)



白石 健一 (しらい けんいち)
(飛ぶ劇場)



権藤 昌弘 (こんどう まさひろ)
(飛ぶ劇場)



有門 正太郎 (うめもん まさたろう)
(飛ぶ劇場) (劇団 WaDaChi)



森 光佐 (もり てる)



橋本 西 (はしもと せい)
(飛ぶ劇場)



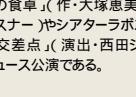
沖田 都 (おきだ ともや)
(北九州市立大学演劇研究会)



酒淵川 真世 (しゅえんがわ まよ)
(che carino / che carina!)



門司 智美 (かど の ともみ)
(飛ぶ劇場)



浅野 かさね (あさの かつね)
(劇団夢の工場)

特集 北九州芸術劇場プロデュース公演

北九州から発信する、
演劇文化の新世界。

北九州芸術劇場のコンセプトのひとつ「創る」。それを体現するのが、劇場がオリジナル作品をつくり、全国へ発信していく「劇場プロデュース公演」。北九州は11年目を迎える演劇祭の実績を持ち、質の高い作品をつくる地元劇団の活躍でも名高い。劇場ができた今、この街での舞台作品のプロデュースも新たなステップを踏み出した。



「劇場」が、舞台作品を
プロデュースする。とは?

プロデュース公演
at 北九州

プロデュース公演とは「プロデューサー」がどのような作品をつくるかという企画をし、劇団など特定の集団にとらわれず企画に合った俳優・スタッフを集めて行う公演のこと。いま、東京・関西で話題になる作品の多くは、この形式をとり、今後プロデュース形式が主流になっていくとも聞かれます。そのプロデュース公演(「北九州」においてもこれまで多く行われてきました。

例えば2002年の北九州演劇祭では、クナワカの宮城聰を演出に迎え、出演者をオーディションで選んだ「アイロン」(作・泊篤志)を上演。また、劇場開設に向けたシアタープロジェクト2003「においてプロデュース公演を行うなどしてきました。これらの背景には、ベルの高地元劇団や制作者の存在も大きく、劇場誕生以前から北九州は作品をつくる意欲にあふれた街でした。

そして、劇場ができた。
劇場が「創る」。

「北九州芸術劇場プロデュース」では文字どおり劇場が「プロデューサー」となっており、オリジナルの舞台作品をつくっていきます。地域の芸術文化の拠点である劇場がオリジナル作品をつくるというところは、単に新しい作品が世に出るといっただけで

はありません。つくられた作品は劇場のレポート「財産」となる可能性を持ち、創ることという過程で経験を積んだ俳優やスタッフは、そこでつくられる作品のさらなるレベルアップの原動力となるでしょう。

さらには作品を別の都市でも上演していく。これは、この街から、全国的に活躍する演劇人やロケランができる作品が生まれるきっかけとなるのです。よい作品を生み出す劇場には、さらによりよい作品・人材が集まり、舞台を観る楽しみが増えるに違いありません。

Check! Key word 1

シアタープロジェクト 2003

北九州芸術劇場のオープンまでに、劇場運営のノウハウ確立や人材の育成、ソフトの開発などをねらったもので、公演事業やワークショップ事業を行ってきた。地芝居Qプロデュース公演「金曜日の食卓」(作・大塚恵美子 / 演出・ベーター・グスナー)やシアターラボ2003「ロッチ」x「海上交差点」(演出・西田シャトナー)などがプロデュース公演である。

Check! Key word 2

北九州演劇祭

1993年から北九州で毎年開催されている。自主参加公演には、毎年市内外から多くの団体が参加。プロデュース公演としては第5回の「アリスな出来事」(作・大塚恵美子 / 演出・泊篤志)、10周年記念作品公演の「IRON」(「小倉城の女たち」(作・柏田道夫、演出・井生定巳)などがある。



エリーザベトコンクール
優勝から10年。
そのヴァイオリンに、
世界は絶賛を
惜しまなかった。

ヴァイオリニスト・戸田弥生、音楽と自分を語る。

音楽 自分、世界

ヨロロバの音楽マンを驚嘆させたエリーザベト王妃国際音楽コンクールから10年。ヴァイオリニスト戸田弥生は、いま、アムステルダムを拠点に活躍している。「作曲家と向き合い、曲の本質をさらに深めていきたい。音楽にかけるひたむきな想いが、ヴァイオリンの深い音色に託されて、秋の響ホールを振るわせる。

「1993年、ベルギーの首都ブリュッセル、エリーザベト王妃国際音楽コンクールに詰めかけた観客は、東洋から来たひとりの可憐なヴァイオリニストに惜しめない拍手を送っていた。戸田弥生、このとき25歳。前年からオランダのスイエーリント音楽院に留学して腕を磨き、その不断の努力がエリーザベトコンクール優勝という快挙に結実した瞬間だった。

「やはり、93年のエリーザベトコンクールが、音楽家として大きな転機でしたわ。単に世界に出ていくきっかけになったというだけでなく、ヴァイオリンというものが自分にとってそれまでとは違った次元で大きな位置を占めるものになりました」

96年には、ニューヨークのジュリアード音楽院からダレイレイ・スカラシップを受けて、1年間在籍。翌年、ニューヨークデュークを果たす。さらにヨロロバ、アメリカ、日本で精力的に演奏会を行い、各地の有名オーケストラにリストとして招かれ、このように絶賛されてきた。

「オランダに渡ってしばらくは、自分が日本人だということをややというほどと思い知らされました。クラシック音楽は西洋の歴史のなかで積み上げられてきたものですから、東洋人に対する偏見みたいなものもないわけではありませんが、でも、逆に日本人だから出せる音もあるわけで、要するに日本人だから、そういうものを相手に感じさせないくらいに圧倒的に素晴らしい音をつくり出していくしかない。

それができたときに初めて、音楽は国籍を超えて人を感動させられるのだと思います」

「日本人だから出せる音もある」といって言葉を口にしたとき、特に瞳が輝いて見えた。

「文化に国境はない」と人は当たり前のことを言う。が、それを当たり前のように実践するのは並大抵のことではない。国籍や国境を本当の意味で飛びこえるためには、まず自らの国籍について痛切に自覚しなければならぬ段階があるのだ。

「真に国際的である」といって決して「無国籍」なものはない。自分の感性や世界観を形づくってきた「日本」というものを強く意識する。「この文化がより高く上げ、より深く、より高くと磨き上げ、極めて尽くしてはじめて、世界」のほんの少しだけが振り向いてくれる。「日本人だから出せる音」の裏側にあるもの重さが、静かに伝わってきた。

「これまで学んできたことを生かし、さらに深く音楽の世界を追究していく。」

「これまでの10年間は、とにかく必死で走ってきたという感じがします。」

チャンスがあれば、結果を気にしないで何でもやらせてもらいましたし、新しいレパートリーにもどんどん挑戦してきまして、でもこれか



らはいままでいろいろな方たちから学んできたことを生かして、さらに深めていきたいと思っています。レパートリーについても広げていくというよりは、いままでも演奏してきた曲にも1度取り組み直して極めていく。そういう10年にしていきたいと考えています」

その姿勢は、11月の響ホールでのリサイタルのレパートリーにも反映されている。

「ベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタは全部で10曲あって、これまでに

**楽器とホールが響き合い、
音楽が自分に寄り添う。
そんな瞬間を、
聴く人たちと共有したい。**

もよく弾いてきました。なかでも5番の「スプリング・ソナタ」はいちばん数多く弾いてきた曲で、一般的なにはこの5番と9番のクラヴィエル・ソナタ」がポピュラーですが、その人氣を裏つげるだけのものが確かにあります。曲の構成にしても完璧ですし、見事なまでに完成された作品。ある意味では、演奏家が入り込む余地がないとさえいえます。で

も逆にいえば、そこにチャレンジしていく意味もあるわけで、こういう曲をさらに自分の力で深めていきたい。こういう演奏をぜひ九州の皆さまに聴いていただきたいですね」

今回デュオを組むピアノの林達也は、彼女の日本での公演のほとんどに付き合ってきた名手。二人の成熟した演奏に期待が集まる。

「林さんは、私がとても尊敬しているピアニストです。音楽に対する姿勢がとても純粹で、それがそのまま音に出ている。だから、こちらでも演奏に

集中できる。曲の世界に深く入り込んでいるわけですね」

「自らを精神的に高めなければ、音楽は寄り添ってくれない。」

ホールも楽器と同じで、使われるほどに音色を高めていく。響ホールも完成して10年がたち、この間にさまざまな演奏家たちの音を受けとめることにより、ホールとしての潜在力が引き出されてきた。奇しくも、10年選手、同士の競演となるわけである。

「各地のホールで演奏するのは、



いつも楽しいものです。ホールごとに個性があるし、ホールが演奏を助けてくれる部分もある。私たちの鳴らす楽器がホールの空間と響き合って、気持ちよく呼吸するようになる。そんな時間をつくることができれば、素敵ですね」

彼女はいく、音楽が自分に寄り添う」といって表現を使う。それは、一流の芸術家だけに理解できる深遠な世界。さりげない言葉のなかに、深い決意が伝わってきた。

「何百年も昔の偉大な作曲家たちが、その時代の自分の生き方や世界観をのべて書き上げた作品ですから、本来私のような者がちやうと練習したくらいで弾きこなせるはずはないんです。仮に技術的に弾けても、その本質を表現することは本当に難しい。だから、作曲家の生き方や想いにつなぐ、曲の本質と向き合っていて、精神的に近づいていくしかない。そうして必死に努力していかなければ、音楽は寄り添ってくれないんです」

「いちばん幸福な瞬間は、音楽と一体になったとき」と語る戸田弥生。彼女は、輝かしく10年を経て、より深く豊かな「第1楽章」へと踏み出した。世界を感動させてきたそのヴァイオリンが響ホールと共鳴する日が、いまから待ち遠しい。

響シリーズ第41弾
戸田弥生
ヴァイオリンリサイタル

11/21(金)

出演 戸田弥生(ヴァイオリン)
林達也(ピアノ)

日時 11/21(金) 19:00開演
(18:00開場)

会場 響ホール

料金 一般：前売3,000円
学生：前売1,500円
指定席：3,500円
(前売のみ)

当日各500円増 **発売中**

ベートーヴェン / ヴァイオリン・ソナタ 第5番へ長調 op.24「春」
イザイ / 無伴奏ヴァイオリン・ソナタ op.27より 第1番ト短調 第6番ホ長調
ドビュッシー / 亜麻色の髪のおとめ
クライスラー / ウィーン小行進曲
フランク / ヴァイオリン・ソナタ イ長調 (曲目は予定)

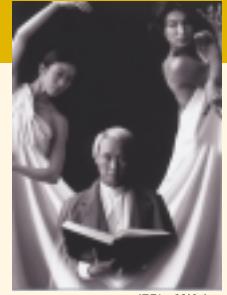


Profile

戸田弥生 Toda Yayoi

福岡県生まれ。4歳からヴァイオリンとピアノをはじめ。1985年、第54回日本音楽コンクール第1位。桐朋学園大学を卒業して、92年アムステルダムのスウェーデン音楽院に留学。93年エリーザベト王妃国際音楽コンクールに優勝して注目を集める。その後、ニューヨーク・チェンバー・オーケストラやモスクワ・フィルハーモニー、ブラハ・チェンバー・オーケストラなど、世界の数多くのオーケストラにリストとして招かれて絶賛される。小澤征爾、ユリー・シモフ、シュロモ・ミツカ、スタニスラフ・ポーン、ジャン・フルネ、マルタ・アルゲリッチらと共演。96年にはニューヨークのジュリアード音楽院から「ダレイ・スカラシップ」を受け、1年間在籍。97年ニューヨークデビューを果たす。99年カーネギー・リサイタル・ホールで「Yayoi and friends」として室内楽を中心としたリサイタルを開催。2000年には、ハーグ・レジデンチ管弦楽団からオランダ・ハーグに招かれ大絶賛された。94年、第4回出光音楽賞を受賞。使用楽器は、小野グループより貸与された1694年製作のアントニオ・ストラディヴァリ「スギチェリ」。アムステルダム在住。

音楽劇 兵士の物語



「兵士の物語」は、ある兵士の姿をとおして人間の心に潜む“正義と悪魔”を描写する音楽劇です。1918年に誕生して以来、多くの名優・名士によって演じられ、さまざまな形式で表現されてきました。今回この傑作に挑むのは、日本を代表する俳優と踊り手、そして音楽家。「この舞台上、私は言葉に関するすべての表現・演技を担います。それだけに大変な役に挑むことになってはいますが、皆さまにはこのうえなく楽しい作品を体験していただけることでしょう。」と西村雅彦談。踊られ、演じられ、奏でられる、見ごたえのあるエンターテインメントを心ゆくまでお楽しみください。

日時 12/5(金)19:00開演(18:30開場)
6(土)14:00開演(13:30開場)

北九州芸術劇場 **中劇場**

出演 西村雅彦(語り)、西島千博・酒井はな(バレエ)、西本智実(指揮)
ロシア・ボリショイ交響楽団“モレナム・ヴェルトゥオーゾ”
演出 山田和也 翻訳 岩切正一郎

料金 全席指定 S席 一般：8,000円、学生(小学生～高校生)：5,000円
A席 一般：6,000円、学生(小学生～高校生)：4,000円

発売中

燐光群+グッドフェローズ プロデュース CVR チャーリー・ピクター・ロミオ



「CVR」は、実際に起きた6件の飛行機事故をブラックボックスの記録をもとに再現した作品です。1999年に初演されたNYでは、演劇界のみならず航空関係者や医療関係者などにも大反響を巻き起こしました。そのアメリカでこの作品と遭遇したが、社会派劇団「燐光群」の主宰・坂手洋二でした。その後、すぐさま日本版の製作を検討しはじめ、2002年、ついにこれを実現させました。日本版では、オリジナル版で約4分間だった日航機事故を17分に拡大。観客にズシリと重い衝撃を与えます。北九州芸術劇場ではこの作品にふさわしい小劇場という舞台を用意。役者の息づかいさえも聞こえそうな濃密な空間のなかで、圧倒的な緊迫感が味わえるはずです。

日時 11/28(金)19:00開演(18:30開場)
29(土)13:00開演(12:30開場)
17:00開演(16:30開場)

北九州芸術劇場 **小劇場**

出演 川中健次郎、中山マリ、大西孝洋、下総源太郎、猪熊恒和 他
演出 坂手洋二+ロバート・バーガー+パトリック・ダニエルズ+アービン・クレゴリー
音響デザイン ジェイミー・メネス

料金 全席指定 **発売中** 一般：3,500円、学生(大学生以下)：2,000円

青年団プロデュース 夏の砂の上

松田正隆・作 平田オリザ・演出のコンテにて98年に上演され、第50回読売文学賞戯曲・シナリオ賞を受賞するなど高い評価を得た注目作品が、北九州芸術劇場・小劇場で再演されます。

物語は長崎市街を舞台に、妻に出ていかれた夫とその姪との奇妙な同居生活を中心に繰り広げられます。そこで描かれるのは、失業、再就職、自己破産などの問題を抱える人々の不安のなかの希望、希望のなかの不安。登場人物の会話をとおして、現代に生きる人々の姿が静かに、そして細やかに描き出されます。

以前から公演やワークショップを通じて、北九州との関わりも深い平田オリザ、珠玉の作品の再演をどう演出して、その期待が高まっています。松田正隆の詩情あふれる世界をさらに切なく、深く描き出し、これができることでしょうか。

日時 2004 1/11(日)17:00開演(16:40開場)
12(祝)14:00開演(13:40開場)

北九州芸術劇場 **小劇場**

出演 内田淳子、占部房子、太田宏*、大塚洋*、金替康博(MONO)、藤谷みき、松井周*、山村紫子* * 青年団所属

作 松田正隆 演出 平田オリザ

料金 全席自由・日時指定・整理券番号付 一般：3,500円、学生：2,000円、高校生以下：1,500円(全券種とも前売・当日同額)

一般発売 11/9(日)10:00より



平成15年度 公共ホール演劇製作ネットワーク事業 だれか、来る

後世に残すべき名作、商業的には上演が難しい傑作。そんな演劇作品を各地の公共ホールが共同で企画・製作するのが、「公共ホール演劇製作ネットワーク事業」です。この事業ではこれまで4回の公演を重ね、いずれも高い評価を得ています。今年度は、ノルウェーの劇作家ヨン・フォッセの代表作「だれか、来る」を太田省吾が演出。舞台は入り江にたたずむ古い屋敷。登場人物は、“だれか来る”ことに怯えている男と女、そしてそこに登場する若い男。「21世紀のベケット」とも称され、ヨーロッパ現代演劇界をリードするヨン・フォッセ。ヨーロッパ各国で上演、絶賛されている彼の作品、日本では今回が初めての上演となります。太田省吾は、演劇における「言語＝言葉」にこだわり続け、常に新しい表現の可能性を追求してきた演出家。新たな演劇の領域を拓く本作品に、どうぞご注目ください。



日時 2004 2/7(土)18:00開演(17:30開場)
8(日)13:00開演(12:30開場)

北九州芸術劇場 **中劇場**

出演 品川徹、荻野目慶子、網島郷太郎
演出 太田省吾 作 ヨン・フォッセ

料金 全席指定 **一般発売** 12/7(日)10:00より 3,500円

劇団 新感線2003年 ゆくゆく年チャンピオン祭り レッスン！忍法帖

2003年を爽快な気分締めくくるならこのステージ。古田新太・高田聖子といったいまノリノリしている俳優の宝庫・劇団「新感線」の登場です。今回の作品は、主宰・いのうえひでのりによる2年ぶりの新作で、劇団初の「忍者モノ」。北九州で超人気劇団の話題作を全国に先駆けて堪能できるチャンスをお見逃しなく。



日時 12/28(日)17:00開演(16:30開場)
29(月)13:00開演(12:30開場)
18:00開演(17:30開場)
30(火)13:00開演(12:30開場)

北九州芸術劇場 **中劇場**

出演 古田新太、阿部サダヲ、馬淵英里何、入江雅人、池田成志 他
作・演出 いのうえひでのり

料金 全席指定 S席7,000円、A席6,000円
一般発売 10/26(日)10:00より

リチャード三世

世界中の俳優がその役を熱望し、作品が主役を選ぶとまで言われるシェイクスピア劇「リチャード三世」。今回の、蛭川幸雄演出では、作品によって“選ばれた”主役・市村正親が、リチャード三世の“悪”の魅力をも十二分に見せつけてくれることでしょう。蛭川シェイクスピアの豪華ステージをお楽しみください。



日時 2004 1/30(金)18:30開演(18:00開場)
31(土)13:00開演(12:30開場)
18:30開演(18:00開場)
2/1(日)13:00開演(12:30開場)

北九州芸術劇場 **大ホール**

出演 市村正親、香寿たつき、夏木マリ、堤川哲郎、高橋長英 他
演出 蛭川幸雄

料金 S席：9,000円、A席：6,000円、B席：3,000円
一般発売 11/30(日)10:00より

ミュージカル コーリン・タウン

2002年上下賞3部門を受賞した話題のミュージカル、コーリン・タウンは、ある街の水不足に端を発する物語。タイトルを直訳すると「おしこの街」となるように、「見ればかかししい題材を扱いつつも批判精神あふれるストーリーが展開されます。日本版の演出は宮本亜門。



日時 2004 3/20(土)14:00開演(13:30開場)
18:30開演(18:00開場)
21(日)14:00開演(13:30開場)

北九州芸術劇場 **大ホール**

出演 南原清隆、別所哲也、マルシア、鈴木蘭々、高泉淳子、藤木孝 他
演出 宮本亜門

料金 全席指定 S席：9,000円、A席：7,000円、B席：4,000円
一般発売 1/25(日)10:00より

ナイロン100 25th SESSION 10th anniversary ハルディン・ホテル

“セッション”と称される「ナイロン100」の公演は、個性的なレギュラーメンバーと客演陣の共演が魅力です。25作目にして10周年を記念する今回のセッションでも、その魅力が全開。さらに進化した面白さを見せてくれることになりそうです。開館10年目のホテルではまる物語。必見のシリアス・コメディです。



日時 12/13(土)18:00開演(17:30開場)
14(日)14:00開演(13:30開場)

北九州芸術劇場 **中劇場**

出演 犬山イヌコ、みのすけ、三宅弘城、大倉孝二 他
作・演出 ケラリーノ・サンドロヴィッチ

料金 全席指定 4,000円 **一般発売** 10/12(日)10:00より

イデビアン・クルー くるみ割り人形

「くるみ割り人形」は、チャイコフスキーの三大バレエ作品のひとつ。クリスマスイブが舞台となっていることから、とりわけこのシーズンには世界中で上演されるポピュラーな作品です。そんな古典バレエの名作が、「イデビアン・クルー」によって、斬新なコンテンポラリーダンスとして生まれ変わりました。さらに、注目したいのがユニークな舞台美術。美術家・楳昇による不思議なオブジェの数々が、皆さんを「あっ」と言わせるはずです。登場人物たちが、手足を投げ出したり、引っ込めたり、ふにやぶにやと突然倒れたり。子どもはドキドキ、大人はワクワク。大人も子どもも楽しめる、こんなに楽しくて奇想天外な「くるみ割り人形」に出会えるのは、クリスマスシーズンといえども、九州では北九州芸術劇場だけかもしれません。



日時 12/21(日)14:00開演(13:30開場)

北九州芸術劇場 **中劇場**

出演 イデビアン・クルー
演出・振付 井手茂太 美術デザイン 楳昇

料金 大人：3,500円
子ども(4歳～中学生以下)：2,000円
一般発売 10/19(日)10:00より

ベートーヴェン・ツィクルス東京でも完結
響シリーズ 第42弾
迫昭嘉 ピアノリサイタル

1980年にジュネーブ国際音楽コンクールで最高位を獲得。1983年には、スペインのハエン国際音楽コンクールで優勝して世界的に注目された迫昭嘉。現在は活動拠点をミラノから日本に移し、ピアニストとして、また「弾き振り」の指揮者として、じっくりと、かつ精力的な活動を続けています。デビュー20周年を迎えた2001年には、1月から12月にわたって「ベートーヴェン・ソナタ全曲ツィクルス」(連続演奏会全8回)をシリーズで開催し、毎回完成度の高い演奏を披露。新聞各紙上でも絶賛されるなど、大きな話題となりました。また、ベートーヴェン・ソナタ全32曲をライブ録音したCDも、現在順次発売中で、その偉業はさらに反響を呼びそうです。今回のリサイタルでも、前半にベートーヴェン・ソナタのなかから大曲を、後半にはロマン派の真髄を披露してくれませう。格調高い演奏と透きとおるような美しい音色。迫昭嘉の奏でる極上のピアノをご堪能ください。



ベートーヴェン ピアノソナタ 第10番ト長調 op.14-2
ピアノソナタ 第23番ヘ短調 op.57「熱情」
グリーグ 組曲『ホルベアの時代より』op.40
シューマン 幻想曲 八長調op.17

日時 2004 1/16(金)19:00開演(18:00開場) **響ホール**

料金 一般：3,000円、学生：1,500円、指定席：3,500円(前売のみ)
前売券でチケットが完売した場合、当日券は発売いたしません。

一般発売 11/17(月)10:00より(予定)

2003 北九州国際音楽祭

ア・カペラ・アンサンブル シャンティクリア

11/3(祝)17:00開演(16:30開場) **響ホール**

テ・プレ / 主よ、汝に寄り頼む シューマン / 6つの歌 op.33
フォスター / 草競馬、金髪のジェニー 他

ヴァイオリン 後藤 龍伸 ヴィオラ 徳久 正紀

ピアノ 永野 栄子 チェロ 関原 弘二
ヴァイオリン、ヴィオラ、作曲 原田 大志

11/9(日)17:00開演(16:30開場) **響ホール**

シューマン ピアノ四重奏曲 変ホ長調 op.47 他

料金 全席自由 一般：3,000円、高・大学生：1,500円、
小・中学生：1,000円、ペア(一般・前売のみ)：5,000円
(上記2公演とも)

お問い合わせ 北九州国際音楽祭実行委員会事務局
093-663-6567 <http://www.kimfes.com>

日時
2004
3/27(土)19:00開演(18:30開場)
28(日)13:00開演(12:30開場)
18:00開演(17:30開場)
アフタートークあり
29(月)19:00開演(18:30開場)
30(火)19:00開演(18:30開場)
31(水)19:00開演(18:30開場)

北九州芸術劇場 **中劇場**

出演 簡井道隆、石井一孝 他
原作 ケーテ
構成・演出 白井晃
作曲 音楽監督 中西俊博
脚本・作詞 能將将夫
振付 近藤良平

料金 全席指定
S席：7,500円、A席：5,500円(予定)

一般発売 1/18(日)10:00より



白井晃

「コンドルスの近藤良平、ステディ×スペクタクル×スタイリッシュを合言葉に、各界の第一線で活躍するキャスト、スタッフが総力を挙げてお贈りする北九州芸術劇場プロデュース作品第2弾。人生とは何かを問いかける、魂のドラマに、ぜひぜひ期待ください。」

文豪ゲーテの名作「ファウスト」を読売演劇大賞優秀演出家賞を2年連続で受賞の白井晃が演出する、白井晃の演出する音楽劇 FAUST「ファウスト」。ワルブルギスとは、魔女や魔物が年に一度集まる祭典のこと。そう、これは人生の満足求めて悪魔に魂を売った男の死と再生愛と幻想の物語なのです。主人公ファウストにはテレビ、映画、舞台と大活躍の簡井道隆、悪魔メフィストには、レミゼラブルのジャン・バルジャン役が話題の石井孝。さらに作曲にはジャズ・パオロの第一人者中西俊博、振付にはコンテンポラリーダンスの雄「コンドルスの近藤良平、ステディ×スペクタクル×スタイリッシュを合言葉に、各界の第一線で活躍するキャスト、スタッフが総力を挙げてお贈りする北九州芸術劇場プロデュース作品第2弾。人生とは何かを問いかける、魂のドラマに、ぜひぜひ期待ください。」



簡井道隆

北九州芸術劇場プロデューサー第2弾
ワルブルギスの音楽劇
FAUST(ファウスト)

第11回 北九州演劇祭

北九州芸術劇場で上演されるプログラムをご紹介します。
その他の会場での上演につきましては、右記へお問い合わせください。

お問い合わせ

北九州演劇祭事務局 093-562-2620
<http://www.kitakyushu-performingartscenter.or.jp/engekikai/>

《推薦劇公演》劇団青春座 **白蓮と伝ネム**

北九州市民文化賞、サントリー地域文化賞を受賞するなど、名実ともに全国一の伝統をもつ市民劇団「劇団青春座」。その190回公演が北九州演劇祭に登場します。作品は大正時代、華族の家に生まれ歌壇に光輝いた筑紫の女王・柳原白蓮と、魚の行商から身を起し炭坑王となった伊藤伝右衛門との葛藤を、飯塚を舞台にした新しい視点で描く話題作です。本公演では出演者を公募し、市民のなかから選ばれた役者が劇団員とともに舞台上に立ちます。地域にしっかりと根をおろして歩みつづける「劇団青春座」。半世紀以上にわたって積み重ねてきたその力量をお楽しみください。

11/8(土)13:30開演(13:00開場) 18:30開演(18:00開場)

11/9(日)13:30開演(13:00開場)

北九州芸術劇場 **中劇場**

出演 劇団青春座 公募市民 演出 井生定巳
料金 一般：3,000円、学生(前売・当日とも)：1,500円
お問い合わせ 青春座 093-941-3768

発売中

《後援事業》SPAC **リア王**

病院の中で死を待つ孤独な老人。彼の記憶の中で描かれるリア王の物語。鈴木忠志の代表作「リア王」は、原作の本質だけをつかみ取り、物語を再構築した作品。アメリカ・イギリスをはじめ世界各国でも上演され、衝撃と喝采をもって迎えられています。第3回北九州演劇祭でも「SCOT」として招へい公演を行なっている鈴木氏。今回も北九州を拠点に活躍する劇団「うずめ劇場」との共同主催で実現した公演です。すべて男が演じる「リア王」、必見です。

12/10(水)19:00開演(18:30開場)

北九州芸術劇場 **大ホール** **発売中**

原作 ウィリアム・シェイクスピア 演出 鈴木忠志
料金 S席：4,000円、A席：3,000円、B席：2,000円
主催 SPAC(財)静岡舞台芸術センター うずめ劇場
お問い合わせ うずめ劇場 090-1161-3215

《自主参加公演》人形劇団ひとみ座

「鳥に聞かされた話」

11/2(日)14:00開演(13:30開場)

北九州芸術劇場 **小劇場**

料金 一般：前売2,000円、子ども：前売1,500円
お問い合わせ 北九州子ども劇場 093-884-3834

《自主参加公演》九州アクターズクラブ

「ミュージカルライブ「ゴーストバスターズ」

11/7(金)19:00開演(18:30開場)

北九州芸術劇場 **小劇場**

料金 前売2,000円
お問い合わせ 九州アクターズクラブ 093-622-2725

《後援事業》「**ハッピーバースデー**」

11/27(木)18:30開演(18:00開場)

北九州芸術劇場 **大ホール**

料金 全席指定：6,800円
出演 小堺一機、宮崎美子、東幹久、秋本奈緒美 他
主催 ケイプラン・九州朝日放送
お問い合わせ ケイプラン 093-952-7220

チケット取扱い 北九州芸術劇場 芸術文化情報センター、チケットぴあ、ローソンチケット、北九州市立響ホール(財)北九州市芸術文化振興財団(土日祝除く)【お問い合わせ】裏表紙をご覧ください。特に表記のない場合、当日券は500円増です。特に表記のない場合、未就学児童の入場はご遠慮ください。 託児あり(有料・要予約)連絡先0120-8000-20

2003年11月・12月・2004年1月

Calendar of Program

大ホール 中劇場 小劇場 問合せ・北九州芸術劇場芸術文化情報センター093-562-2655

北九州市芸術文化振興財団主催事業 第11回北九州演劇祭 北九州国際音楽祭

北九州芸術劇場

10/31(土)~11/2(日) 北九州芸術劇場プロデュース第一弾「大砲の家」 ➡ P3 中

11/2(日) 北九州交響吹奏楽団 第33回定期演奏会 15:00(14:30開場) 一般/800円 当日200円増、高校生以下無料 北九州交響吹奏楽団(小野)090-8838-8607 大

11/2(日) 第11回北九州演劇祭自主参加公演 人形劇団ひとみ座「鳥に聞かされた話」 ➡ P8 小

11/3(祝) ふくおか文化祭2003日本舞踊祭 13:00(12:00開場) 無料 第19回国民文化祭北九州市実行委員会 093-582-2391 大

11/7(金) 第11回北九州演劇祭自主参加公演 九州アクトズクラブ「ミュージカルライブ“ゴーストバスターズ”」 ➡ P8 小

11/8(土)~9(日) 第11回北九州演劇祭推薦劇団公演 劇団青春座「白蓮と伝ネム」 ➡ P8 中

11/9(日) 名曲の花束 ソフィア・ソリステン 14:00(13:30開場) S席/4,000円、A席/3,000円、B席/1,000円(B席前売完売) (株)ウイブ 093-952-7220 大

11/10(月)~16(日) 北九州市民劇場11月例会 無名塾「森は生きている」 10日/18:30、11日/13:30、12日/13:30、13日/13:30、14日/18:30、15日/13:30、16日/13:30 (開場は各30分前) 料金:会員でない方はお問い合わせください 北九州市民劇場 093-541-0075 大

11/16(日) 2003北九州国際音楽祭協賛事業 北九州交響楽団 第90回定期演奏会 14:00(13:30開場) 一般/1,300円、学生/800円 当日200円増 北九州交響楽団 093-961-9922 大

11/18(火) 北九州市制40周年・朝日新聞西部本社新社屋落成記念 石井好子ジャンソンのタベ 朝日チャリティーコンサート 難民救済～世界の子どもたちに愛の手を 18:30(18:00開場) 出演:石井好子、永六輔、木原光知子 他 朝日チャリティーコンサート事務局 0120-353-667 大

11/22(土) 九州歯科大学Swing Jazz Orchestraブルーノーツ 定期演奏会 18:00(17:30開場) 無料 九州歯科大学Swing Jazz Orchestraブルーノーツ(河野) 090-1362-8503 大

11/23(日) 劇団風の子九州「竜の飛ぶ冬」 13:00(12:30開場)、16:30(16:00開場) 1,200円 当日300円増 社団法人 北九州青年経営者会議 093-661-0486 大

11/24(月・休) 北九州少年合唱隊 第17回定期演奏会 14:00(13:30開場) 800円 当日200円増 北九州少年合唱隊(神理幼稚園内/高山) 093-962-3126 大

11/27(木) 第11回北九州演劇祭後援事業「ハッピー・バースデー」 ➡ P8 大

11/27(木) 虹のホーム・メイ・アンサンブルコンサート 19:00(18:00開場) 一般/3,000円 当日500円増、学生/2,000円 日本トウ・ホー・メイ協会九州支部 093-941-3768 中

11/28(土)~29(日) 燐光群+グッドフェローズ プロデュース CVR チャーリー・ビクター・ロミオ ➡ P6 小

12/5(土)~6(日) 音楽劇「兵士の物語」 ➡ P6 中

12/7(日) 小倉北区民文化祭～芸術舞蹈部門～/バレエ公演「carol cue～キャロル・キュー～」 13:30(13:00開場) 大人/2,000円、子ども/1,000円、親子ペア/2,500円 黒田バレエ 093-571-6718 大

12/10(水) SPAC「リア王」 ➡ P8 大

12/13(土)~14(日) ナイロン100 「ハルディン・ホテル」 ➡ P6 中

12/13(土) 北九州高等学校吹奏楽部 第1回定期演奏会 18:30(18:00開場) 無料 北九州高等学校吹奏楽部 093-931-3554 大

12/19(金) 北九州市立大学吹奏楽団 第36回定期演奏会 18:30(18:00開場) 一般/500円、高校生以下無料 北九州市立大学吹奏楽団(大下) 090-7440-0549 大

12/19(土)~20(日) 飛ぶ劇場 オフシアターact.2 19日/19:00(18:30開場)、20日/13:00(12:30開場)、20日/17:00(16:30開場) 2,000円 当日500円増(予定) 飛ぶ劇場制作事務所/ハルネ 093-873-7460 小

12/21(日) イデピアン・クルー「くるみ割り人形」 ➡ P6 中

12/22(月) わらび座Music Performance Band「響」ROAD 19:00(18:30開場) 3,500円 当日500円増 劇団わらび座 048-649-7506 小

12/28(日)~12/30(火) 劇団 新感線「レッツゴー!忍法帖」 ➡ P7 中

1/4(日) 新春 各流舞踊 顔見世公演 11:00(10:30開場) 一般/5,000円 アコエータープライズ 0774-21-6666 大

1/6(火) ローマ・イタリア歌劇団 歌劇「椿姫」 18:30(18:00開場) S席/18,000円、A席/16,000円、B席/14,000円、C席/12,000円、D席/10,000円 クラウンコンサート福岡 092-711-8868 大

1/9(金) ニューイヤークンサート ウィーン・ヨハン・シュトラウス・ガラ・オーケストラ 18:45(18:15開場) 料金未定 クラウンコンサート福岡 092-711-8868 大

1/10(土) 九響2004 ニューイヤークンサート 17:00(16:00開場) S席/2,500円、A席/2,000円 (株)ウイブ 093-952-7220 大

1/11(日)~12(月) 青年団プロデュース「夏の砂の上」 ➡ P7 小

1/15(土)~20(日) 北九州市民劇場 1月例会 地人会「昨日までのベッド」 15日/18:30、16日/13:30、17日/13:30、17日/18:30、18日/13:30、19日/13:30、19日/18:30、20日/13:30 (開場は各30分前) 料金:会員でない方はお問い合わせください。 北九州市民劇場 093-541-0075 中

1/23(金) おうちに帰ろう～北区役所の一番長い夜～ DV予防啓発小倉北劇場 18:30(18:00開場) 無料 出演:劇団夢の工場ほか 小倉北区役所まちづくり推進部保健福祉課 093-582-3433 中

1/25(日) 北九州シティオペラ合唱団 ガラコンサート 14:30(14:00開場) 予定 料金未定 北九州シティオペラ合唱団事務局 093-551-6942 大

1/30(土)~2/1(日) リチャード三世 ➡ P7 大

響ホール

11/3(祝) 2003北九州国際音楽祭 シャンティクリア ➡ P8

11/9(日) 2003北九州国際音楽祭 永野栄子 他 ➡ P8

11/12(水) ケーベリック・トリオコンサート 19:00(18:30開場) 一般/4,500円・高校生以下/2,500円 北九州労音 093-571-0227 中

11/21(金) 響シリーズ第41弾 戸田弥生ヴァイオリン・リサイタル ➡ P5

11/23(日) 新日本製鐵マンドリン合奏団 第61回定期演奏会 14:00(13:30開場) 500円 新日本製鐵マンドリン合奏団(数田) 093-246-0133 中

11/24(月・休) 第36回北九州アンサンブル・コンテスト 12:00(11:30開場) 1,000円 当日200円増 九州吹奏楽連盟北九州支部(土谷) 090-1340-5364 中

11/29(土) ピアチェヴォールコンサート 19:00(18:30開場) 1,000円 ピアチェヴォール(最上) 093-671-1427 中

12/4(木) ウィーン・ラズモフスキー弦楽四重奏団&鶴木日土美(ピアノ) 19:00(18:30開場) 一般/3,000円 高校生以下/2,000円 ぎゅぽつやさんのピアノ店 093-622-1900 中

12/6(土) 産業医科大学管弦楽団 第18回定期演奏会 18:30(18:00開場) 800円 産業医科大学管弦楽団(久間) 090-7577-9197 中

12/12(金) 第34回定期演奏会 九州女子短期大学音楽科 18:30(18:00開場) 1,000円 九州女子短期大学音楽科(津山) 093-693-3118 中

1/11(日) 北九州伯林的管弦楽団演奏会 15:00(14:30開場) 無料 北九州伯林的管弦楽団(中西) 093-611-6706 中

1/16(金) 響シリーズ第42弾 迫昭嘉ピアノ・リサイタル ➡ P8



北九州芸術劇場 KITAKYUSHU PERFORMING ARTS CENTER

〒803-0812 北九州小倉北区室町4丁目1-11 リバーウォーク北九州内
TEL 093-562-2655 FAX 093-562-2526(5F芸術文化情報センター)
<http://www.kitakyushu-performingartscenter.or.jp>

新幹線・新幹線小倉駅より西小倉駅へ2分、西小倉駅より徒歩3分
空港:北九州空港よりJR日豊本線下曽根駅経由、西小倉駅まで約25分
JR:小倉駅より徒歩10分、西小倉駅より徒歩3分
乗用車:都市高速道路、小倉駅北ランプから車で5分
専用の駐車場はございません。



響ホール HIBIKI HALL

〒805-0062 北九州小倉東区平野1-1-1国際村交流センター内
TEL 093-662-4010 FAX 093-662-0100

http://www.city.kitakyushu.jp/~k7905021/index_2.html

JR:鹿児島本線八幡駅下車。徒歩約10分。
バス:西本町八幡駅前下車。徒歩約8分 / 市立八幡病院前下車
徒歩約5分 / 国際村交流センター前下車徒歩約2分
乗用車:都市高速道路、大谷ICから車で10分。

Relay Essay

つなぎあう言葉、響きあうこころ



Hirata Oriza 平田オリザ

北九州の演劇界とは、もう十年以上のおつき合ひになります。

「劇場を作るという計画はあるんですけどね。まあ、無理でしょう」という話から始まって、「劇場はできるらしいけれど、どうせ、僕たちの使えるようなものにはならないですよ」という時代から「なんだか面白そうなものができるんだけど、どうすれば

いいですか」というように、北九州を訪れるたびに、話が具体化していきました。

今回、自信作の『夏の砂の上』を持って、新しい劇場を訪れることができるのは、無上の喜びです。九州、長崎を舞台にした松田作品を持って北九州に伺うのは、『月の岬』以来、度目となります。

劇作家、松田正隆氏が、読売文学賞を受賞した名作『夏の砂の上』は、人間の生の営みの、もつとも小さな部分を描いています。新しい劇場の開館を言祝ぐ雰囲気の中で、しかし、劇場は、人間の在り方を見つめ続ける場以外にはなりえないのだということ、は、はっきりと示せる舞台にできればと願っています。

私自身、三年ぶりの北九州での公演を、いまから楽しみにしています。

青年団プロデュース 夏の砂の上

1/11(日) 1/12(祝)



▶P7

Profile

1962年 東京生まれ。劇作家・演出家・桜美林大学助教授・青年団主宰・こまばアゴラ劇場支配人。国際基督教大学教養学部卒業後、在学中に結成した劇団「青年団」を率いて活動し、新しい演出様式による「現代口語演劇論」を確立する。以来、演劇はもとより教育、言語、文芸などあらゆる分野で活躍。1995年『東京ノート』で第39回岸田國土戯曲賞を受賞したほか、1997年、『月の岬』(作・松田正隆 / 演出・平田オリザ)で第5回読売演劇大賞最優秀作品賞・優秀演出家賞、2002年、『上野動物園再々々襲撃』(脚本・構成・演出)で第9回読売演劇大賞優秀作品賞受賞するなど、数々の賞を受けている。『現代口語演劇のために』、『芸術立国論』(第7回AICT演劇評論賞受賞)など著書も多数。

チケットのお買い求め方法

下記一にて窓口販売をしています。電話予約は行っていません。

芸術劇場プレイガイド・インフォメーション リバーウォーク北九州5Fへお越しください。
(チケット取扱い時間 10:00 - 19:00)

093-562-2655(芸術文化情報センター 10:00 - 20:00)

響ホール(チケット取扱い時間 10:00 - 17:00)

093-662-4010(9:00 - 17:00)

財団法人 北九州芸術文化振興財団 八幡東区中央町・レインボープラザ7Fへお越しください。
(チケット取扱い時間 10:00 - 17:00 / 土・日・祝休み)

093-662-3025(8:30 - 17:00)

【プレイガイド】チケットぴあ・ローソンチケットをご利用ください。

【問合せ】 チケットぴあ 092-708-9111 ローソンチケット 0570-000-408

公演によっては、上記以外での取扱いがある場合もあります。

特に表記のない場合、本誌掲載情報は平成15年10月1日のものです。

編 | 集 | 後 | 記 |

表紙の写真は、北九州芸術劇場の小劇場。催しのない日の、静かに体を休めている姿です。公演の日には作品に合わせて表情を変え、劇場もまた、いつもと違う時を過ごします。2号目を迎えた「Q」。北九州芸術劇場と響ホールから、日常に花を添えるようなステージの魅力をお届けいたします。あなたが「いつもとちょっと違う時間」を過ごす、そのきっかけになることを願って。